

(会社名)

事業継続計画

____年____月____日 作成

____年____月____日 改訂 (第____版)

目 次

【様式 1】 BCPの基本方針	1
1. 目的	
2. 基本方針	
3. 重要商品	
【様式 2】 被害想定	2
【様式 3】 重要商品提供のための対策	3～4
4. 事前対策の検討	
【様式 4】 緊急時の体制	5
5. 緊急時の統括責任者	
【様式 5】 BCPの運用	6
6. BCPの定着	
7. BCPの見直し	
【南海トラフ地震・津波BCP 個人カード作成資料】	7～8
防災カード（表・裏）印刷用	9
BCP個人カード（表・裏）印刷用	10

【様式 1】BCPの基本方針

1. 目的

本計画は、緊急事態（地震の発生等）においても、従業員及びその家族の安全を確保しながら自社の事業を継続することを目的として策定したものである。

2. 基本方針

当社は、以下の基本方針に基づき、緊急時における事業継続に向けた対応を行う。

チェック	基本方針
☐	人命（従業員・顧客）の安全を守る
☐	自社の経営を維持する
☐	供給責任を果たし、顧客からの信用を守る
☐	従業員の雇用を守る
☐	地域経済の活力を守る
☐	

3. 重要商品

緊急時においても、自社で優先的に継続もしくは復旧させる商品・サービス（以下、重要商品という）は、以下のとおりである。

重要商品名

【様式 2】被害想定

本計画における緊急時の被害状況を以下のとおり想定する。

大規模地震（震度 5 弱以上）で想定される影響

インフラへの影響

ライフライン



- 停電が発生し、水道とガスが停止する。
- その後、電気、水道、ガスの順番で復旧する。

利用の可否：×

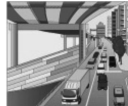
情報通信



- 電話やインターネット等が発生直後は、つながらなくなる。
- その後、ケーブル断線の復旧等により、順次復旧する。

利用の可否：×

道路



- 一部の道路が通行規制となる。
- その他の道路で、渋滞が発生する。

利用の可否：△

鉄道

- 発生直後は、鉄道の運行が完全に停止する。
- その後、被害の少ない地域から順次再開する。



利用の可否：×

あなたの会社への影響

人



- 設備・什器類の移動・転倒、耐震性の低い建物の倒壊、津波の発生等により、一部の従業員が負傷する。
- 従業員やその家族の負傷、交通機関の停止等により、一部の従業員が出社できなくなる。

情報



- パソコン等の機器類が破損する。
- 重要な書類・データ（顧客管理簿、仕入先管理簿、商品の設計図 等）が復旧できなくなる。

物



- 工場・店舗等が、大破・倒壊・浸水する。
- 固定していない設備・什器類が移動・転倒する。
- 商品・備品類が落下・破損する。
- 仕入先の被災により、部品や原材料等が調達できず、商品の生産・販売ができなくなる。

金

- 工場の生産停止や従業員の出勤率の低下により事業が停止してしまい、その間の売上がなくなる。

- 会社の運転資金（従業員の給与、賃借料等）と建物・設備等の復旧のための資金が必要となる。



【様式 3】 重要商品提供のための対策

4. 事前対策の検討

重要商品を提供するための事前対策は以下のとおりである。

重要商品名	
-------	--

経営資源(人)への事前対策

【ステップ 1】事前対策の実施状況の把握		【ステップ 2】事前対策の検討・実施		
		何をやる？	誰がやる？	いつやる？
従業員の安否確認ルール の決定や安否確認手段の確保 を行っているか？	☐ はい			
	☐ いいえ			
緊急時に必要な従業員が 出社できない場合に、代行で きる従業員を育成しているか？	☐ はい			
	☐ いいえ			

経営資源(物)への事前対策

【ステップ 1】事前対策の実施状況の把握		【ステップ 2】事前対策の検討・実施		
		何をやる？	誰がやる？	いつやる？
什器や棚等、設備を固定して いるか？	☐ はい			
	☐ いいえ			
	☐ はい			
	☐ いいえ			

経営資源(情報)への事前対策

【ステップ1】事前対策の実施状況の把握	
重要なデータを特別に保管 (バックアップ、耐火金庫等)しているか？	☐ はい ☐ いいえ
緊急時に取引先等へ情報を 発信、取引先等の情報を収 集する手段を整備している か？	☐ はい ☐ いいえ



【ステップ2】事前対策の検討・実施		
何をやる？	誰がやる？	いつやる？

経営資源(金)への事前対策

【ステップ1】事前対策の実施状況の把握	
操業が停止した場合に、必要 な運転資金を把握している か？	☐ はい ☐ いいえ
緊急時に運転資金として活 用できる現金・預金を準備し ているか？	☐ はい ☐ いいえ



【ステップ2】事前対策の検討・実施		
何をやる？	誰がやる？	いつやる？

その他の事前対策

【ステップ1】事前対策の実施状況の把握	
取引先及び同業者等と災害 発生時の相互支援について 取り決めているか？	☐ はい ☐ いいえ



【ステップ2】事前対策の検討・実施		
何をやる？	誰がやる？	いつやる？

【様式 4】 緊急時の体制

5. 緊急時の統括責任者

地震等の災害発生により、緊急事態となった際の統括責任者及び代理責任者は以下のとおりとする。

統括責任者の役割	統括責任者	代理責任者 ①	代理責任者 ②
■ 全社の対応に関する重要な意思決定及び指揮命令	社長		

統括責任者が意思決定及び指揮命令すべき全社の対応の例

緊急

当日～（初動対応）

対応内容例	連携
■ 従業員・お客様の避難	○
■ 従業員・お客様の安否確認	—
■ 被災した従業員・お客様対応	○
■ 初期消火	○
■ 地域への対応	○
（瓦礫処理による避難経路確保）等	

数日～（復旧に向けた対応）

対応内容例	連携
■ 重要商品の提供（・休止）	—
■ 各種取引先との連絡調整	—
■ 行政・業界団体への対応	○
■ 対外への情報発信	—
■ 資金の確保	—
等	

○の項目は、企業同士が連携（共助）することで、効果的となる場合が考えられるもの

【様式 5】 BCP の運用

6. BCPの定着

BCPの重要性や進捗状況等を社内に周知するため、定期的に従業員に対して、以下の教育を実施する。

教育計画		
誰が？	何をする？	いつ？もしくは どのくらいの頻度で？
経営者	従業員に対して、BCP の進捗状況や問題点を説明する	毎年____回

7. BCPの見直し

BCPの実効性を確保するため、以下の基準に基づきBCPの見直しを行う。

BCP を見直す基準
■ 日頃の顧客管理、在庫管理、仕入先管理の結果に大幅な変更があった場合、商品・サービスの変更・追加、生産ラインの組み替え、人事異動等があった場合は、BCP を見直す必要があるか検討を行い、その必要があれば即座にその変更を BCP に反映する
■ 毎年 1 回以上、事前対策の進捗状況や問題点をチェックし、必要に応じて BCP を見直す

南海トラフ地震・津波BCP個人カード作成資料（2/1）

【BCP個人カード（表面）：事前準備】

- ① まず空欄にあなたのすべきことを追加で記入し、次にあなたのできることをチェックしてください。そして、合計 100% をチェックした項目に配分し、順位をつけてください。配分、順位付けが終わったら「BCP個人カード：事前準備」へ優先度の高い順に記載して下さい。
- ② 表面と裏面の記入が済んだら、BCP作成担当者がこの検討チェック表と自社のBCPを参考に、足りない部分を指令として個人に割り当て、個人カードに記載させてください。

チェック	事前準備(裏の東日本大震災の被害も参考に)	%	順位	チェック	%	順位
	社長が BCP 担当者を決め作成を指示する			情報のバックアップ		
	災害時社長不在の時の代替者の決定			拠点の分散		
	指揮命令系統の明確化			代替で生産や調達する手段を準備		
	所在地域の危険性を把握			1 ヶ月程度事業を中断した際の損失の把握		
	損害保険の加入			1 ヶ月程度の事業運転資金の確保		
	予備電源の確保			会社の流動を管理し目録を更新		
	建物の耐震・防災化			重要物を高い所に移動、設置		
	設備備品の固定			地震・津波の避難訓練をする		
	電話の不通に対して代替手段の確保			消火器設置と使用方法の訓練		
	緊急時に情報を発信する手段の準備					
	震災後の製造品優先順位の確定					
	災害時代行できる従業員の育成					
	津波、高潮、洪水対策にビニール紐付空のペットボトル大を備える（ ）個					
	夜の発生に備え携帯電話のライト機能を使えるように訓練する					
	防災カードで南海トラフ地震・津波の①～④タイプを知り災害の大きさを想定					
	災害時従業員、家族と連絡がとれるようにしておく					
	災害時支援が来るまでの従業員の安全、健康を確保する計画策定					
	食料、水、原材料、燃料の備蓄（缶詰は賞味期限が切れても相当期間大丈夫）					
	重要な IT 機器システムが使用出来ない場合の代替方法					
	取引先及び同業者等と災害発生時の相互支援について取り決める					
	初期救急、AED の使用方法、心肺蘇生法の訓練					
	事前の災害対策や被災時復旧の為に融資制度の把握					
	重要な業務、サービスの優先順位の確定					
	災害時における優先業務の目標復旧時間の設定					
	BCP 策定後 HP 中小企業策定運用指針第 2 版 BCP 取組状況チェックを行い完成度をチェック					

南海トラフ地震・津波BCP個人カード作成資料（2/2）

【BCP個人カード（裏面）：災害発生以降】

- ① 「事前準備」の作成手順と同様です。
- ② 東日本大震災の被害 震災 6 ヶ月後アンケート結果（保険会社調査）
東北 6 県 法人会会員を中心に 218 社回答、資本金 5,000 万円未満が 83%

順位	被害の内容	%	順位	被害の内容	%
1	停電	88	9	自社の設備損壊	34
2	電話不通	78	10	風評被害	26
3	IT 機器利用不能	50	11	道路遮断	24
4	自社の業務停止	49	12	自社の従業員被災	22
5	取引先の業務停止	45	13	自社の IT 機器情報システム 損壊	18
6	断水	44			
7	自社の建物損壊	40	14	その他	6
8	顧客の業務停止	35	15	特に被害は受けなかった	2

- ③ 東日本大震災の教訓
- ・ 隣り合わせの二つの銀行で、何もせずただ逃げた方は全員命が助かり、重要物を金庫に入れていた方は全員津波で亡くなりました。
 - ・ 女川町佐藤水産の専務佐藤充さんは、中国人実習生 20 名全員の命を救い、後に亡くなったが、インターネット上で中国全土から賞賛されました。

チェック	災害発生以降	%	順位	チェック	%	順位
	社員家族の安全確保と安否確認			電気、燃料、水の確保		
	地域との相互扶助			通信手段の確保		
	救助活動			目標復旧時間の策定		
	被害状況調査			風評被害への対応		
	被害情報の発信、共有					
	対応方針決定					
	顧客、取引先との相互扶助					
	取引先への連絡					
	メーカーへの連絡、指示をあおぐ					
	代替仕入先の紹介					
	二次被害の防止					
	お客様、外国人研修生、市民、社員（ ）の避難誘導					
	優先して継続復旧すべき中核企業の確定					
	事業拠点や生産設備仕入品調達等の代替策を用意する					
	揺れ具合、情報から地震を①～④タイプに特定し、津波高を推測					
	津波は浮くものが無ければ 20cm で死亡率が上がり 90cm で 100% 近くになる					
	津波にはビニール紐付空のペットボトルを腰にくくって全力で逃げる					
	津波に巻きこまれたら、浮く物にしがみつかり特に引き潮の落下状態で離さない					
	震源までの距離＝たて揺れの後横揺れまでの秒数×10＝ km					

南海トラフ地震・津波防災カード印刷用
(切り取って真ん中で折って使用ください)

南海トラフ地震・津波防災カード

氏名

血液型

	標 高	避 難 先	標 高	距 離	予想到達時間	津波高	ビニール紐付空
自宅	m		m	・ km	h m	m	個
出先	m		m	・ km	h m	遡上高 m	個

※標高を調べるには「地理院地図」で検索。
国は次の地震は裏面②のケースの可能性が高いと予測している。
夜の地震発生に備え携帯電話のライト機能を使えるように。
東日本大震災では死因の9割超が溺死。そこでビニール紐付空のペットボトル大を2つ腰にくくって逃げれば浮いて助かる。そして1つは誰かにあげ助ける。

【地震】第1波（縦揺れ）が大きかったらすぐ外に出て第2波（横揺れ）に対処。地震は何度も起こる可能性が高い。地震火災を防ぐこと。

【津波】津波火災に備え、高い所に避難。1854年大阪では9m、6m、3mの津波が一晩中何度も襲来。また、犠牲者は殆どが訪れていた人。全国民が南海トラフ津波の危険にさらされている事を銘記すべき。

東日本大震災の規模を1とする。規模はMが0.2上がる毎に倍。

年	南海トラフ地震は規模により①～④に分類	M	規模	震源域	死者2万人のうち9割超が津波による溺死。最大は津波高20m、遡上高40m。
2011	東日本大震災	9.0	1	500km	
① 2千年前	南海トラフ・琉球	9.5	6	1700km	1500～2000年毎に発生。世界最大級。
② 1707	東海～日向灘	9.1	1.5	700km	大阪だけで1707年、津波で17000人、地震で5000人、1854年数千人が犠牲に。犠牲者は住民以外の訪れていた人が殆どだった。
③ 1854	東海～東南海	8.4	1/8	300km	
1日半後	南海～日向灘	8.6	1/4	400km	
④ 1944	東南海	7.9	1/48		どちらの地震も津波による死者は少ない。1512年と1605年の地震では、徳島県の1地域だけで津波による死者がそれぞれ3700人と1500人だったので、この2つは①～③の巨大地震と分けて考えてよい。
1946	南 海	8.0	1/32		

衛星測位により震源域が伊豆半島の西から東へ移動→関東直撃の可能性が有る。
岡山経済同友会防災・BCP委員会委員長 清水 男 渡した人（ ）

南海トラフ地震・津波防災カード

氏名

血液型

	標 高	避 難 先	標 高	距 離	予想到達時間	津波高	ビニール紐付空
自宅	m		m	・ km	h m	m	個
出先	m		m	・ km	h m	遡上高 m	個

※標高を調べるには「地理院地図」で検索。
国は次の地震は裏面②のケースの可能性が高いと予測している。
夜の地震発生に備え携帯電話のライト機能を使えるように。
東日本大震災では死因の9割超が溺死。そこでビニール紐付空のペットボトル大を2つ腰にくくって逃げれば浮いて助かる。そして1つは誰かにあげ助ける。

【地震】第1波（縦揺れ）が大きかったらすぐ外に出て第2波（横揺れ）に対処。地震は何度も起こる可能性が高い。地震火災を防ぐこと。

【津波】津波火災に備え、高い所に避難。1854年大阪では9m、6m、3mの津波が一晩中何度も襲来。また、犠牲者は殆どが訪れていた人。全国民が南海トラフ津波の危険にさらされている事を銘記すべき。

東日本大震災の規模を1とする。規模はMが0.2上がる毎に倍。

年	南海トラフ地震は規模により①～④に分類	M	規模	震源域	死者2万人のうち9割超が津波による溺死。最大は津波高20m、遡上高40m。
2011	東日本大震災	9.0	1	500km	
① 2千年前	南海トラフ・琉球	9.5	6	1700km	1500～2000年毎に発生。世界最大級。
② 1707	東海～日向灘	9.1	1.5	700km	大阪だけで1707年、津波で17000人、地震で5000人、1854年数千人が犠牲に。犠牲者は住民以外の訪れていた人が殆どだった。
③ 1854	東海～東南海	8.4	1/8	300km	
1日半後	南海～日向灘	8.6	1/4	400km	
④ 1944	東南海	7.9	1/48		どちらの地震も津波による死者は少ない。1512年と1605年の地震では、徳島県の1地域だけで津波による死者がそれぞれ3700人と1500人だったので、この2つは①～③の巨大地震と分けて考えてよい。
1946	南 海	8.0	1/32		

衛星測位により震源域が伊豆半島の西から東へ移動→関東直撃の可能性が有る。
岡山経済同友会防災・BCP委員会委員長 清水 男 渡した人（ ）

南海トラフ地震・津波防災カード

氏名

血液型

	標 高	避 難 先	標 高	距 離	予想到達時間	津波高	ビニール紐付空
自宅	m		m	・ km	h m	m	個
出先	m		m	・ km	h m	遡上高 m	個

※標高を調べるには「地理院地図」で検索。
国は次の地震は裏面②のケースの可能性が高いと予測している。
夜の地震発生に備え携帯電話のライト機能を使えるように。
東日本大震災では死因の9割超が溺死。そこでビニール紐付空のペットボトル大を2つ腰にくくって逃げれば浮いて助かる。そして1つは誰かにあげ助ける。

【地震】第1波（縦揺れ）が大きかったらすぐ外に出て第2波（横揺れ）に対処。地震は何度も起こる可能性が高い。地震火災を防ぐこと。

【津波】津波火災に備え、高い所に避難。1854年大阪では9m、6m、3mの津波が一晩中何度も襲来。また、犠牲者は殆どが訪れていた人。全国民が南海トラフ津波の危険にさらされている事を銘記すべき。

東日本大震災の規模を1とする。規模はMが0.2上がる毎に倍。

年	南海トラフ地震は規模により①～④に分類	M	規模	震源域	死者2万人のうち9割超が津波による溺死。最大は津波高20m、遡上高40m。
2011	東日本大震災	9.0	1	500km	
① 2千年前	南海トラフ・琉球	9.5	6	1700km	1500～2000年毎に発生。世界最大級。
② 1707	東海～日向灘	9.1	1.5	700km	大阪だけで1707年、津波で17000人、地震で5000人、1854年数千人が犠牲に。犠牲者は住民以外の訪れていた人が殆どだった。
③ 1854	東海～東南海	8.4	1/8	300km	
1日半後	南海～日向灘	8.6	1/4	400km	
④ 1944	東南海	7.9	1/48		どちらの地震も津波による死者は少ない。1512年と1605年の地震では、徳島県の1地域だけで津波による死者がそれぞれ3700人と1500人だったので、この2つは①～③の巨大地震と分けて考えてよい。
1946	南 海	8.0	1/32		

衛星測位により震源域が伊豆半島の西から東へ移動→関東直撃の可能性が有る。
岡山経済同友会防災・BCP委員会委員長 清水 男 渡した人（ ）

南海トラフ地震・津波防災カード

氏名

血液型

	標 高	避 難 先	標 高	距 離	予想到達時間	津波高	ビニール紐付空
自宅	m		m	・ km	h m	m	個
出先	m		m	・ km	h m	遡上高 m	個

※標高を調べるには「地理院地図」で検索。
国は次の地震は裏面②のケースの可能性が高いと予測している。
夜の地震発生に備え携帯電話のライト機能を使えるように。
東日本大震災では死因の9割超が溺死。そこでビニール紐付空のペットボトル大を2つ腰にくくって逃げれば浮いて助かる。そして1つは誰かにあげ助ける。

【地震】第1波（縦揺れ）が大きかったらすぐ外に出て第2波（横揺れ）に対処。地震は何度も起こる可能性が高い。地震火災を防ぐこと。

【津波】津波火災に備え、高い所に避難。1854年大阪では9m、6m、3mの津波が一晩中何度も襲来。また、犠牲者は殆どが訪れていた人。全国民が南海トラフ津波の危険にさらされている事を銘記すべき。

東日本大震災の規模を1とする。規模はMが0.2上がる毎に倍。

年	南海トラフ地震は規模により①～④に分類	M	規模	震源域	死者2万人のうち9割超が津波による溺死。最大は津波高20m、遡上高40m。
2011	東日本大震災	9.0	1	500km	
① 2千年前	南海トラフ・琉球	9.5	6	1700km	1500～2000年毎に発生。世界最大級。
② 1707	東海～日向灘	9.1	1.5	700km	大阪だけで1707年、津波で17000人、地震で5000人、1854年数千人が犠牲に。犠牲者は住民以外の訪れていた人が殆どだった。
③ 1854	東海～東南海	8.4	1/8	300km	
1日半後	南海～日向灘	8.6	1/4	400km	
④ 1944	東南海	7.9	1/48		どちらの地震も津波による死者は少ない。1512年と1605年の地震では、徳島県の1地域だけで津波による死者がそれぞれ3700人と1500人だったので、この2つは①～③の巨大地震と分けて考えてよい。
1946	南 海	8.0	1/32		

衛星測位により震源域が伊豆半島の西から東へ移動→関東直撃の可能性が有る。
岡山経済同友会防災・BCP委員会委員長 清水 男 渡した人（ ）

南海トラフ地震・津波BCP個人カード印刷用
(切り取って真ん中で折って使用ください)

[illegible][illegible]

南海トラフ地震・津波BCP個人カード 事前準備本人()優先順
指令
洪水浸水高 m ~ m

災害発生以降上下司()
指令連絡先

[illegible]